

2 【視点2】複式学級の特徴を生かした指導

複式学級において、自分の考えを互いに分かりやすく伝え合うためには、その特質に応じて、ガイド学習や異学年による交流を一層充実させる必要がある。

ガイド学習を充実させるためには、子供自身が考えのつなぎ方や自分の考えの説明の仕方を理解したり、ガイド力とフォロワー力を向上させたりする必要がある。異学年による交流を促すためには、相手意識を明確にもった言語活動や多様な考えを共有する振り返りの場を設定する必要がある。

(1) ガイド学習の充実

ア 思考をつなぐ話合い

ガイド学習を充実させるために、話合いの話型（資料16）を作成し、子供自身が考えのつなぎ方や自分の考えの説明の仕方を理解して活用できるようにしている。

その際、これまで研究してきたことを基に、「自分の考えを発表するとき」、「友達の考えをきくとき」、「考えが発表しやすくなるように」の三つに整理し、発達の段階に応じて重点的に指導することを決めて、作成したものを活用している。

<p style="text-align: center;">自分の考えを広げたり深めたりするために！！</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">自分の考えを発表するとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ わたしは、～～だと思えます。その理由は、～～だからです。 ☆ ～～を調べてみると、～～となっています。 だから、～～と思えます。 (自分の考えを言いたいとき) ☆ わたしも、○○さんのと同じ考えです。それは、～～だからです。 ☆ ほかにあります。それは、～～です。 ☆ ○○さんの考えとちがって、～～です。 (友達と同じ考えやうちが考えを言いたいとき) ☆ ○○さんの考えにつけ加えます。それは、～～です。 (友達の考えに付け加えるとき) </div>	<p>重点的に指導する</p> <p>中学年</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">友達の考えをきくとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ それは（これは）、どういう意味ですか？ それは（これは）、どういうことですか？ (友達の考えを聞きたいとき) ☆ どうして、そうなるのですか？ どうして、そう思ったのですか？ (友達の考えた理由を聞きたいとき) </div>	<p>高学年</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">考えが発表しやすくなるように</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ ○○さんの考えを聞いて、～～のことについて分かりました。 ☆ そういう考え方もできるということに気付きました。 ☆ わたしの考えとは、～～について違うけど、その考え方もとてもいいと思います。(友達の考えが伝わった時) ☆ ○○さんの考えは、～～ということですか？ ☆ ～～ということは、～～という考えをしたらどうですか？ (友達の考えに確認やアドバイスをしたいとき) </div>	<p>低学年</p>

【資料16 話合いの話型（中・高学年）】

イ ガイド力・フォロワー力の育成（「複式学習の手引き」の活用）

ガイド力・フォロワー力を向上させるために、これまで活用してきた「ガイド力・フォロワー力の系統表」（別紙資料）をさらに具体化した「この時期に、これを」（別紙資料）を基に、低学年から発達の段階に応じた指導を積み重ねている。

また、教師も「この時期に、これを」を活用し、自分の指導方法を自己評価することで、子供一人一人に応じたガイド力・フォロワー力の育成につながるようにしている。